

みはら
MIHARA

あなたと
議会を
むすぶ

VOL. 61

市議会だより

令和2(2020)年8月1日



七宝橋付近の沼田川

今号のもくじ

ページ	主な内容
2	新副議長の紹介ほか
3～8	一般質問 11名の議員が質問
9～10	令和2年5月・6月市議会の概要
11	特別委員会・議員全員協議会の概要

ページ	主な内容
12～13	常任委員会報告
14	議決結果
15	次回定例会予定
16	わがまちに望む夢

議 会 運 営 委 員 会

委 員 長	七 川 義 明
副 委 員 長	伊 藤 勝 也
委 員	児 玉 敬 三
委 員	亀 山 弘 道
委 員	政 平 智 春
委 員	加 村 博 志
委 員	梅 本 秀 明
委 員	分 野 達 見



副議長
しんもと あきら
新元 昭

三原市幸崎能地七丁目
三原市議会議員 3 期目 74 歳

主な経歴

- ・ 経済建設委員会委員長
- ・ 補正予算特別委員会委員長

新副議長の紹介

平成31年度政務活動費の執行報告

政務活動費は、地方自治法と条例に基づき、市議会議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として議会の会派に交付されているものです。

平成31年度各会派に交付された政務活動費の執行状況は、次のとおりです。

(単位:円)

会 派	公明党	新風会	市民連合	創志会	志成会	新和クラブ	日本共産党	是々非々の会	年度途中解散分		合 計
	児玉 敬三 高原 伸一 萩 由美子	政平 智春 田中 裕規 徳重 政時 新元 昭	分野 達見 亀山 弘道 高木 武子 中重 伸夫	伊藤 勝也 杉谷 辰次 岡 富雄 陶 範昭 加村 博志	梅本 秀明 正田 洋一 岡本 純祥	七川 義明 木村 尚登 宮垣 秀正 仁ノ岡範之	寺田 元子	安藤 志保	民政クラブ 4月30日 解散	無所属クラブ 4月30日 解散	
政務活動費 交付額①	900,000	1,200,000	1,200,000	1,500,000	900,000	1,100,000	300,000	300,000	☆75,000	☆25,000	7,500,000
資料作成費	11,550	16,200	15,400	19,250	11,550	16,200	5,329	610	0	0	96,089
資料購入費	58,968	0	0	0	0	2,900	88,337	0	7,000	0	157,205
研修会議費	183,300	120,000	180,000	325,000	90,000	180,000	20,000	42,500	0	0	1,140,800
活動旅費	327,800	164,380	703,200	470,640	440,540	461,800	0	38,560	0	0	2,606,920
事務費	49,034	114,930	65,518	221,436	48,942	245,398	69,516	16,454	0	0	831,228
支出合計②	630,652	415,510	964,118	1,036,326	591,032	906,298	183,182	98,124	7,000	0	4,832,242
返還額 (①-②)	269,348	784,490	235,882	463,674	308,968	193,702	116,818	201,876	68,000	25,000	2,667,758
執行率 (%)	70.07	34.63	80.34	69.09	65.67	82.39	61.06	32.71	9.33	0.00	64.43

☆年度途中解散のため、解散月までの交付額とする。

※ 1人当たり、月額25,000円を会派に交付しています。 ※新和クラブは4月30日結成。所属議員は5月～3月は4人。

〔支出項目の説明〕

資料作成費：会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費：会派が行う活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費

研修会議費：研修会の講師謝礼。会議のための費用。研修会の参加負担金

活動旅費：調査研究及び要請・陳情活動のための費用

事務費：備品購入費、通信費、文具費、消耗品費など

定例会では6月11日、12日に一般質問が行われ、11人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。発言内容は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、三原市ホームページで閲覧できますのでご覧ください。
(公表までには、議会終了後おおむね3ヵ月を要します。)

HPアドレス <https://www.city.mihara.hiroshima.jp> → 市議会 → 三原市議会会議録検索
→ 議会映像ライブラリー

教育現場におけるICT環境の整備について

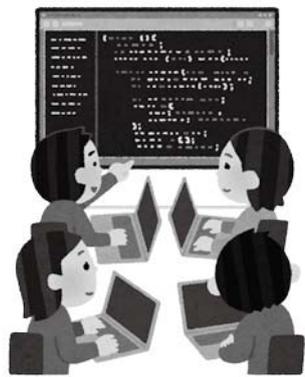


しょうだ よういち
正田 洋一 議員

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、国からの予算が前倒しされ、GIGAスクール構想の機器の整備等が前倒しされる。本市における機器の整備状況・教育現場での活用の見通し・オンライン授業の実現見通しについて聞く。

答 4月30日に国の補正予算が成立し、本市ではいち早く、児童・生徒1人に端末1台の早期実現にむけて準備している。端末は、契約後2ヵ月程度で教員貸与分440台、その後、逐次、数回に分けて整備・納品される計画としている。現段階では県内他市より先に進んでいると認識している。

活用の見通し・オンライン授業



GIGAスクールのイメージ

新型コロナウイルスについては、すでに県教育委員会で教育用クラウドサービスのアカウントを確保済みで、これらを利用した活用研修は複数回受講済みである。夏には校長会で実演後、学校指導を行うこととしている。オンライン授業は、日常の授業の延長であり、教育そのものの変化ではなく、アカウントやクラウドの使い方、端末活用習熟度が上がれば、オンライン授業実施へつながる。

本市におけるテレワークの導入について

問 他の自治体の事例を調査すると庁内にテレワークを導入するところが増えている。庁内での感染防止およびクラスター発生時に市役所を機能停止に陥らないようにするため、ある自治体では、職員を3班に分け、1班をテレワークにする事例等、失敗事例も含め様々な事例を聞いた。

本市においても、会議室を執務室に変えるなどの感染症対策は行われているが、市役所が機能不全に陥らないためのテレワーク導入を提案する。

答 テレワークは、実施可能な業務について各課アンケートを行ったが、データ管理など多くの制約もあり、実施に至らなかった経緯があるが、他自治体では、感染リスクを減らす目的として導入する動きが見受けられる。本市においても今後、多様な働き方の選択を可能にするため、導入について研究していく。



すぎたに たつじ
杉谷 辰次 議員

コロナ禍での「新たな避難」対策について

問 災害時の避難所では人が密集する状態になるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策はどう考えているのか。

答 避難所における対策について、手指等の消毒・手洗いの徹底、健康状態をチェックし、「3密」を避けることに留意して避難するように、広報誌等で啓発している。

避難所の運営ガイドラインとして、市内自主防災組織及び避難所の開設を担当する市職員向けに「避難所における新型コロナウイルスウイルス感染症対策方針」を作成し、避難所において、世帯ごとの間隔を広げること、要配慮者の避難スペースを確保することや、体調不良者の対応には、隔離用テントを活用すること等、可能な限り、「3密」を避けるよう努める。だが、こ

の対応には限界があり、感染症拡大防止対策と命を守る行動を両立させるためには、市民協働の考え方が不可欠である。

問 自主防災組織が設置する避難所の感染症対策の備品整備はどう考えているのか。

答 避難所における感染症対策用の物資等拡充については、現時点

においては、補正予算の計上による対策を行うまでもなく、マスク・消毒液等は、備蓄品を活用し、テント・エアマットは、新たな購入と県からの提供を受ける。体温計・防護服等も、県からの提供を受ける。市内の拠点的な避難所32カ所向けとして用意するとともに、



自主防災倉庫に備蓄されている段ボールベッド

自主防災組織が開設する避難所には、自主防災組織育成支援事業補助金や自主開設運営謝金の活用をお願いし、状況によっては、本市で備蓄する物資の提供も行っていく。

問 避難行動要支援者への平常時と災害時の対応はどう考えているのか。

答 本市では、協定を締結している自主防災会などの避難支援等関係者へ、避難支援を行う際の、避難行動要支援者の感染予防についての留意点を周知し、防災に加えて感染予防の呼びかけを行っている。

一般質問



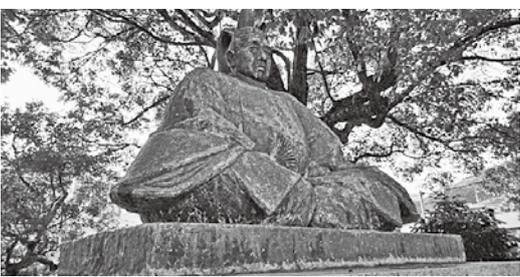
たなか ひろき
田中 裕規 議員

小早川隆景公をシンボルにしたまちづくりによる観光戦略について

問 本市には、核となる明確な観光のコンセプトがなく、観光資源を有効活用できていないことが大きな課題である。

本市の歴史を考えると中心市街地のシンボルとして隆景公を置き、テーマ性を持ったまちづくりによる本市独自の観光戦略を練るべきである。理事者の見解を問う。

答 「第2次三原市観光



隆景広場の小早川隆景公像

戦略プラン」では、歴史・文化を活用した観光商品を作成し、観光消費の拡大を図る取り組みを掲げている。

街のシンボルやストーリーを持った特色ある事業戦略は必要であり、隆景公を核のひとつとしたテーマ性のある観光振興について検討していく。

問 築城450年事業の年に、市議会では「歴史と文化を大切にしたまちづくりを推進する都市みはら」の宣言が出された。議会だけでなく、市民にも広く周知し、同じ方向を向いてまちづくりをするために、条例化も考えるべきではないか。

答 市民の地域に対する愛着や誇り、郷土愛の醸成のために、全市的な取り組みを目指すべきと考える。条例化は、他都市も参考にして研究する。

健康寿命ナンバーワンに向けての取り組みについて

問 本市の健康寿命は、平成29年で男性が78・79歳、女性が84・40歳だが、県内で何番目なのか。

答 県内23市町中、男性18位、女性6位である。

問 本市男性の順位が低い原因は何か。

答 本市の調査はないが、県全体の分析結果では、喫煙や塩分の摂取量が多く、社会的つながりが弱いことがあげられている。

問 健康寿命を延ばすための具体的な取り組みについて問う。

答 重点事業として、ウォーキングや筋力アップ体操の推進、特定健診・基本健診・がん検診の推進を掲げ、各種推進活動に取り組んでいる。

問 サン・シープラザ3階で開催されていた健康体操が、改修と新型コロナウイルスの影響で、再開の目処が立っていない。2階多目的ホールが使えないか。

答 感染防止対策も考えながら、事業再開を検討している。



たかき たけこ
高木 武子 議員

性教育と人権教育について

問 児童・生徒への指導はどう行われているのかについて問う。

答 学校における性に関わる教育については、人格形成の一環として、生命、人格、人権の尊重などの精神に基づき、保健や特別活動の授業において課題を踏まえ、指導・対応を行っている。

問 望まない妊娠の相談を受ける仕組みと、相談の有無について問う。

答 義務教育段階において、妊娠してしまった、させてしまったという相談は、10年来ないが、相談を受ける仕組みは重要であり、担任・養護教諭・スクールカウンセラー等による教育相談の充実を図っている。

問 「にんしんSOS広島」の市民への啓発について問う。

答 県が委託している窓口で、市では周知チラシ

を保健福祉センター窓口等に用意し、ホームページに掲載している。

問 教育委員会、保健福祉課、人権推進課等の連携について問う。

答 自分の人格とともに他人の人格を尊重した行動ができるよう連携を図り、発達段階に応じて学習指導要領に沿って教育を進めていく。

健康寿命を延ばす取り組みについて

問 健康寿命の考え方と対策について問う。

答 介護や人の手を借りずに、衣服の着脱・食事・入浴等、普段の生活が一人ででき、健康的な日常が送れる状態の期間。延ばす対策として食育の推進・病气予防と重症化予防、セルフケア能力・地域力の向上を推進している。

問 行政・社会福祉協議会・地域・住民等の連携について問う。

答 それぞれの団体が主体的に取り組む必要がある。社会福祉協議会と協働で小学校区単位に、地域福祉ネットワーク会議の設立に取り組み、6カ所に設置できた。課題は、担い手不足であり、養成に取り組んでいる。

問 ふれあいサロン常設化について問う。

答 ふれあい・いきいきサロンは205カ所、常設サロンは12カ所、身近な地域での交流を活性化していく。



ここにこサロンあさひ

一般質問

高齢者・障がい者をどのように支援しているか



みやがき ひでまさ
宮垣 秀正 議員

問 ごみ出し支援について、家族や近所の手助けがない高齢者・障がい者が増えている。ひとり暮らしの高齢者は何人か。

答 ひとり暮らしの高齢者は令和元年10月現在5510人である。

問 ひとり暮らしの方や障がいがあり、ごみ出しが困難な方の希望申請があれば、支援してはどうか。いつ実施するのか。

答 高齢者／障がい者の虐待通報は各々29年度182件／9件、30年度228件／5件、31年度241件／13件である。このうち高齢者／障がい者虐待認定は各々29年19件／8件、30年度11件／3件、31年度9件／2件となっている。虐待対応は市及び関係職員で構成するコア会議を開催し、虐待認定や必要に応じて事業所の立入検査をおこなっている。

問 高齢者や障がいがある人で、希望される方が利用しやすい支援となるよう市民の皆さんに周知し、今年度試行して、早期に実施したい。

答 虐待について、施設等の事故や事件による虐待相談・通報が増えているのではないかと。市の虐待対応について問う。

問 高齢者／障がい者の虐待通報は各々29年度182件／9件、30年度228件／5件、31年度241件／13件である。このうち高齢者／障がい者虐待認定は各々29年19件／8件、30年度11件／3件、31年度9件／2件となっている。虐待対応は市及び関係職員で構成するコア会議を開催し、虐待認定や必要に応じて事業所の立入検査をおこなっている。

問 天井川のしゅんせつは未工事箇所があり、土砂等堆積している。今後の取り組みを問う。

答 天井川のしゅんせつ工事は非出水期の秋頃から、生田橋付近から上流の甲原橋付近までを予定している。

度について、GPSの導入は行方不明者発見に有効で、人の命が助かる。市として取り組むべきではないか。

問 今年度中にGPS機器購入費補助事業を実施予定。

三原竹原線（小泉地区）の道路工事および天井川のしゅんせつについて

問 道路工事は29年度に用地取得に着手した。その後、現在の進捗状況について問う。

答 現在、用地取得は全体の約2割進んでいる。一定区間完了した箇所について、順次工事を行う予定である。

問 天井川のしゅんせつは未工事箇所があり、土砂等堆積している。今後の取り組みを問う。

答 天井川のしゅんせつ工事は非出水期の秋頃から、生田橋付近から上流の甲原橋付近までを予定している。



問 高齢者安心見守り制



寺田 元子 議員

新型コロナウイルス感染症への対応について

問 ①三原赤十字病院と三原市医師会病院が国の再編統合の対象になっているが、コロナ感染症対策においても両病院の果たす役割は重要であり、統合撤回を国や県に求めるべきではないか。

答 ②第二波に備えるため、市民や事業所への支援策として水道料金の免除を実施してはどうか。

問 ③各種給付事業の進捗に



再編統合の対象となっている三原赤十字病院と三原市医師会病院

答 ①2つの医療機関は本市の中核的な公的医療機関であり、コロナ感染症においても尽力いただき、なくてはならない医療機関だ。当該医療機関から撤回の要請を求められておらず、本市から撤回を求める考えはない。

②コロナ対策の長期化を見据え、市民生活への支援策として水道料金の減免を検討したい。

③雇用の継続に最優先で取り組むため、事業者にわかりやすい支援制度の一覧やチラシを作成し、

広く周知を行い、事業継続と雇用の維持につなげたい。

問 ①今後の動きを傍観するのではなく、市民の命と健康を守る立場で2つの医療機関の存続を強く求めるべきではないか。

答 ②今後、国から三原市へ配分される第二次臨時交付金を使い、水道料金免除で次の感染予防に備えるべきではないか。

問 ①医療機関の厳しい経営状況もある中で、関係機関と連携を図り今後について検討していく。

②感染症の長期化も予想されており、水道料金の減免も含めスピード感を持って検討したい。

感染症と自然災害の同時発生の備えをすべき

問 ③密防止の避難所対策、マスクや防護服などの十分な備蓄、医療との連携について問う。

答 できるだけ多くの避難所開設を図る。感染予防に必要な備蓄をする。保健師との連携・かかりつけ医・県の専用電話相談などで対応する。

一般質問



岡 富雄 議員

久井地域の支援について聞く

問 中山間地域に位置付けられている久井地域の支援について聞く。

答 ①現在運行している「久井ふれあいバス」は、利用者が減少しているため、令和3年10月を目処に運行形態の見直しを進めたいとのことだが、どう見直すのか。また、検討段階で世羅町と広域連携による移動手段を取り入れることはできないのか。

問 ②人口減少・高齢化によるリニア不足で地域の事業や作業が停滞している。その打開策として、地域支援員の拡充を図れないか。また、地域おこし協力隊の募集状況や地域との関わりはどうなっているのか。

答 ①「久井ふれあいバス」は、収支率が7.4%まで落ちているため、見直しを今年度から行うことになっている。見直し後の運行形態は、自宅近

くから区域内の目的地まで移動が可能な乗合タクシーを想定している。

世羅町への移動については、既存のバス路線との競合やタクシー事業者の経営への影響などを十分に考慮しながら、交通事業者や世羅町等の関係者と協議を行い、住民のニーズに対応できる地域公共交通になるように検討していく。

問 ②人口減少や高齢化が進行する中で、地域支援員の役割はより重要なものになると考えているが、一方で、持続可能な地域運営のためには、地域住民が主体的に地域活動に参画していくことが必要であると考えている。

人材確保は大きな課題であると認識しており、地域支援員と地域住民が一緒に課題解決に取り組むことや、地域支援員たちの連携した取り組み、市職員との連携等、まずは拡充ではなく地域における連携体制の構築について、調整していきたい。



久井ふれあいバスから降車中の利用者（高齢者）



かめやま ひろみち
亀山 弘道 議員

学校の新型コロナウイルス感染症対応について

問 子どもたちをパートナーとし、力を合わせて難局を乗り越えてほしい。真のアクティブラーニングの始まりで、ピンチをチャンスにすることができないか問う。

答 感染症への対応といった観点からは、これまでとは異なる学校生活とならざるを得ない環境にある。「友達と一緒にだからできる」と改めて実感でき、この経験を踏まえ、一層の成長につながるよう、各校における教育活動を支えていく。

問 教職員を加えて学校教育に特化した対策組織を設置してはどうか。

答 情報共有や連携を図りながら、「新しい学校の生活様式」に沿った学校ならではの学びを大切にしていく。

に用意し、窓口での手続きがスムーズに行えるよう取り組みを進める。

問 図書館北面東側壁に巨大テレビを設置してはどうか。

答 広場の一角にデジタルサイネージを設置することとしている。これを活用してスクエア内のイベント案内やお知らせ、サテライトスタジオ収録番組の中継放送など、情報発信の充実を図る。中心市街地活性化に向けて、官民連携してキオラスクエアを上手く活用し、にぎわいづくりに向けて取り組む。

問 1学期と2学期の節目をどうするのか。また、5か月間連続する2学期に節目を作るのはどうか。

答 今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどのようになるか予測することが難しい状況下、冬季休業を含めた休業日の設定を教育委員会として打ち出すことは、現段階では控えたい。

キオラスクエアの賑わい創出について

問 図書館利用者カードが市民全員にいきわたる取り組みを工夫してはどうか。

答 現在のカードも利用できる。新たな利用者カード発行について、広報等の媒体を通じて周知するとともに、利用申込書の様式をホームページ



キオラスクエア

一般質問



こだま けいそう
児玉 敬三 議員

手話言語条例の制定に向けて

問 平成30年第1回定例会の一般質問以降の2年間、本市が取り組まれてきた条例制定をおこなった自治体の実態や効果の調査研究についての進捗状況について問う。

答 県内で開催された講演会等に参加し、他市の条例制定までの過程や条例制定後の取り組み等について調査研究を進める中、今年1月に「全国手話言語市区長会」に加入し、「手話言語条例を考える行政担当者学習会」に参加するなど、県内外の自治体とのネットワークの構築も進めてきた。

手話言語条例制定に向けて市内の当事者団体と協議を重ね、今年2月に同じく条例制定を検討している尾道市と合同で手話言語条例に関する学習会を開催したところであり、今後は他市の条例制定までの過程を参考にしながら、条例制定に向けて取り組んでいく。

ながら、条例制定に向けて取り組んでいく。

避難所における3密対策について

問 避難所内の間仕切りや感染症対策に有効とされる段ボールベッドの導入計画について問う。

答 武道館内の防災倉庫に初動用として段ボールベッド70セットを備蓄している。今後、県からの提供により、段ボール間仕切り200セットを追加配備する予定である。購入計画については、

各拠点避難所の屋外防災倉庫では、収納スペースや、気温の変化によるカビの発生などの課題から、保管は厳しく、支援協力協定締結業者との協議で、2000個程度であれば72時間以内で納入が可能であることを確認している。

問 環境の整っている本郷、久井、大和の各支所に分散備蓄できないか。各支所に分散備蓄をすることにより、緊急時に地域内で素早く対応できると思うがどうか。

答 備蓄している段ボールベッドについては、現数量を維持し、引き続き武道館内の防災倉庫で管理していく。

初動時に対応できるように、段ボールベッドの備蓄数を補うものとして、マットレス20枚程度を拠点避難所32カ所に優先的に配備し活用を図っていく。



段ボールベッド



安藤 志保 議員

本郷町に設置許可された民間の最終処分場について

問 産業廃棄物最終処分場設置の申請が、4月23日に広島県により許可された。事業者から住民説明が十分行われないままである。本市としての対応は十分だったのか。

答 市としてとるべき対応は行っており、対応が不十分であったとは考えていない。

問 事業者が行った生活環境影響評価では、処分場からの影響を一番受けると思われる住宅の井戸が調査から漏れている。本市独自に調査を行うべきことを平成30年の本会議で求めたが行われていない。今すぐやるべきではないか。

答 県の設置許可申請の審査において、有識者の意見も含めて、生活環境の保全に関して支障がないと判断され許可された。市独自の調査は必要

ないと考える。

問 処分場建設地は西日本豪雨で大きく崩れ国道を塞いだ。今年1月にレッドゾーン指定もされた。すでに工事が始まっているが、災害防止計画が確実に守られるよう働きかけるのか。

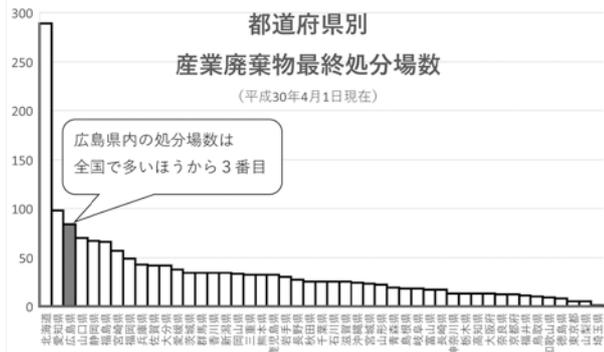
答 梅雨時期に造成工事

を集中させないように工事工程を調整することについて、事業者が申請どおり実施するよう、許可権者である県と連携して働きかける。

問 環境法は、事業者が自由に企業活動をする権利と、人々が健康に暮らす権利・1次産業を守る権利がせめぎ合いながら進化の途上にある。安定型処分場

はないほうがいいという自治体職員の声も環境省の調査で把握されている。法が不十分であることを踏まえ、問題点を正確に把握する必要がある。設置許可に至るまでの問題や、工事が始まってから現場で起きている問題を正確に把握するため、住民の声を聴くべきではないか。

答 要望等あれば、適切に対応したい。不信感を持っておられることは好ましい状況ではない。住民の不安を解消するよう、県にしっかりと働きかけていく。



産業廃棄物行政組織等調査報告書より作成

一般質問



政平 智春 議員

本市の観光振興策を問う

問 本市は、瀬戸内海の風光明媚な資源に恵まれている。この魅力をどうアピールして、観光振興につなげるかを問う。

答 10月から始まる「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」においては、観光型高速クルーザーの就航による新たな誘客も期待でき、瀬



竜王みはらしラインからの眺望

戸内の魅力を生かした観光誘客についてDMCやJR西日本などと連携を密に取り組んでいる。

問 海に親しむ環境整備について問う。

答 海辺の宿泊施設から直行する早朝の海釣りや瀬戸の島々をめぐるクルージングは、地の利が生かされた魅力ある観光資源である。DMCにより海に親しむ観光旅行商品が今後造成されるよう取り組みを進めていく。

問 2019年、ニューヨークタイムズが選ぶ「2019行くべき52カ所の旅行先」で瀬戸内の島々が7位にランクインをしている。

このような評価を受けた景観を本市も有しており、本市の観光振興の柱の一つにすべきではないか。

答 瀬戸内海の景観は、旅行商品として年間を通

じた誘客が可能である。瀬戸内海のロケーションを活用した体験型プログラムを含む旅行商品の造成や、瀬戸内海沿岸市町との広域周遊を含めた連携を図り、より一層の魅力発信に努めていく。

市営住宅の管理について問う

問 市営住宅に入居する際、連帯保証人を必要としているが、県は廃止となっている。本市として廃止する考えはないか。

答 今後、連帯保証人を不要とすることについて、3月の一人化の改正の運用を見きわめつつ、県及び他都市の状況を確認し、検討していく。

問 市営住宅のボイラーが壊れた時の負担割合を問う。

答 入居者の適切な使用での故障や経年劣化した備品等の修理、交換については、状況に応じて費用を市が負担するなど、三原市営住宅設置、整備及び管理条例施行規則を見直し、より適切となるよう努めていく。

令和2年5月・6月市議会の概要

第2回臨時会補正予算特別委員会（概要と質疑の抜粋）

5月1日の臨時会では、96億7120万円の一般会計補正予算（第2号）案他1議案を審議しました。

【概要と質疑】

特別定額給付金を市民一人当たり10万円給付するために必要な経費93億9100万円、新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動を縮小した市内の中小企業者が、労働者の雇用を維持するため、国の雇用調整助成金を受けた場合において助成金の10分の1を独自に助成するための経費を3000万円追加するもの等。

医療機関において、院内感染を防ぐことを主な目的として、設備や備品の購入費用を補助するために創設したものであり、PCR検査数を増加させるものではない。

補助対象経費や補助割合の基準をどのように考えているのか。

補助対象経費としては、例えば、院内感染を防ぐために、病院の屋外に外来診療所を設置するためのテント設置費用などが考えられる。また、補助割合については、できるだけ全額を補助したいが、要望のあった医療機関の事業内容を精査し、決定していきたい。

【財政調整基金について】

財政調整基金から多額の繰り入れが行われているが、財政調整基金の現在高はいくらか。

財政調整基金の現在

第4回臨時会補正予算特別委員会（概要と質疑の抜粋）

5月29日の臨時会では、4580万円の一般会計補正予算（第4号）案を審議しました。

【概要と質疑】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主が、労働者の雇用維持を図った場合などに助成される雇用調整助成金等の申請に関し、市内の中小企業者が、社会保険労務士に申請を依頼した場合に、社会保険労務士へ払った報酬に対して、10万円を上限に補助するもの。

理由を問う。

広島労働局では、県内の事業所数の約1割にあたる事業所から、本件に関する相談を受けており、本市においても、市内の中小企業者の約1割にあたる450者を対象に、社会保険労務士として見込んでいた方法を考えているのか。

広島県社会保険労務士会三原支部に対して周知を行うとともに、三原商工会議所や臨空商工会などの経済団体を通じて

採決の結果、全員一致、提案理由を了とし、本案は、原案どおり可決した。

第5回定例会（概要と質疑の抜粋）

今定例会は、6月9日から6月23日までの15日間で開催し、9億3700万円の一般会計補正予算（第5号）他18議案を審議しました。

【概要と質疑】

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少するなどして、日本政策金融公庫や民間金融機関から新型コロナウイルス対策の融資を受けている市内の中小企業

者に対し、一律10万円を給付するため5000万円、国の「GIGAスクール構想」に基づくICT環境の整備として、小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒に一人につき、1台の学習

者用情報端末を導入する計画を前倒しして実施するとともに、学校の臨時休業等における遠隔教育などを、端末の活用範囲を拡大させることを目的とした可搬型データ通信機器の整備などのため、3

億1232万円、コミュニティFM放送を受信できない不感エリアの解消を図ることを目的として、4620万円を追加するもの等。

新型コロナウイルス感染症対応事業について

問 新型コロナウイルス感染症対応事業として、経済対策だけでなく、ひとり親世帯や子育て世代に対する支援を行う等、現在に至るまでの本市の対策は高く評価できるが、国の第二次補正予算等、一定の財源が見とせる中、今後の対応策は考えているのか。

答 感染症の長期化に伴う地域経済への影響を最小限にとどめるため、今後示される国、県の臨時交付金や補助金を最大限に活用しながら、市民や事業者が必要とする支援を適切かつ迅速に行っていくきたい。

今後新たに行おうとしている支援策の具体的な内容について問う。

答 市民生活への影響などを考慮し、最も効果的な支援策について、協議

検討しているところであるが、現時点で、個別具体を述べる事ができる段階にはない。

今後、内閣府が示している新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の活用事例などを参考にとりまとめ、市民や事業者の声に配慮することができると支援策を講じていきたい。

自主防災活動推進事業について

問 地域の自主防災組織が助成金を受けて購入する資機材のうち、災害対策仕様大型テントは、避難所における感染症の拡大を防止することにも活用できるのか。

答 この大型テントは、地震災害時など屋内への避難に危険が伴い、屋外に避難所を設ける必要がある場合や、屋外に救護所等を設ける場合などを用途として想定しているが、テントの側面をシートで覆うことも可能であることから、避難所における感染症対策にも活用することができると考えている。

問 自主防災組織が助成金を有効活用するための取り組みについて問う。

答 助成金の活用にあたっては、自主防災組織が、地域の防災活動にとって有効な資機材を選択、購入できるよう助言を行うとともに、購入した資機材を防災訓練などで定期的に使用するように促すことで、有効活用を図り、地域の防災力を向上させたい。

GIGAスクール構想について

問 小・中学校の児童生徒全員に対する、学習者用情報端末の導入が完了する時期について問う。

答 学習者用情報端末の導入にあたっては、納入業者の選定や端末の納品、教員の習熟度の向上などに時間を要することが想定されるが、準備が整ったところから導入を進め、今年度中の完了を目指したい。

問 家庭における学習にも学習者用情報端末を活用することを考えているのか。その場合、各家庭の通信環境をどのように

把握し、また、通信環境が整っていない家庭への対応をどう考えているのか。

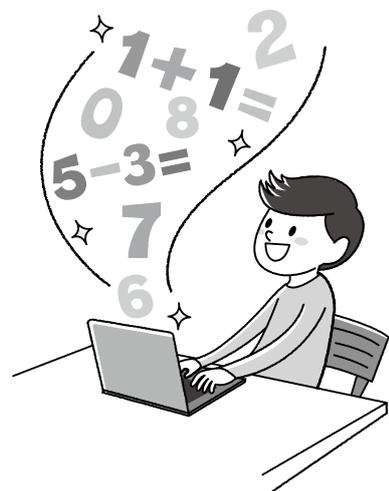
答 学習者用情報端末は学校内での運用を基本に考えているが、臨時休業時には家庭で活用することも想定している。また、各家庭における通信環境については、臨時休業時にデータ通信機器を貸し出す対応を検討している。

【採決】

採決の結果、全員一致、提案理由を了とし、各案は、原案どおり可決した。

答 GIGAスクール構想とは、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資源・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。これまでの我が国の教育実践と最先端のICT

のベストミックスを図る。出す。（文部科学省のリーフレットより）



第6回臨時会（概要と質疑の抜粋）

6月30日の臨時会では、市長の退職の期日に関する同意について他1件を審議しました。

【概要と質疑】

市長が市議会議長へ6月30日をもって退職したいとの申し出があり、6月30日を市長の退職する日とする同意を求められ、3人の議員から天満祥典三原市長に対し抗議する決議が提出された。

【採決】

採決の結果、市長の退職する日については全員一致、決議については賛成多数で、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

【概要と質疑】

6月30日を退職日として選んだ理由を問う。

答 職を辞することに責任を取らせていただく。

新斎場建設調査特別委員会

6月定例会付託議案審査

議第78号「三原市斎場設置及び管理条例の一部改正について」

【概要】新斎場の建設及び供用開始に伴い、三原市斎場の位置を変更し、本郷斎場を廃止し、世羅三原斎場組合火葬場の使用料の公費負担に係る規定を削除するため、条例を改正したいとするもの

【主な質疑の内容】

【問】使用料の公費負担に係る規定が削除されることに伴い、久井町及び大和町の住民が、令和2年10月1日以降に世羅町の火葬場（やすらぎ苑）を利用した場合の使用料は。

【答】現行で無料の使用料は、規程の削除に伴い、10月1日からは、火葬一体あたり2万円となる。3年4月以降については、火葬一体あたりの使用料3万円となる。

議第79号「三原市斎場の指定管理者の指定について」

【概要】指定管理者として、2年10月1日から5年3月31日まで、まごころサービスグループを指定することについて議決を求めたいとするもの

【主な質疑の内容】

【問】指定管理者の選定基準に、感染症対策について評価する項目を設けていたか。

【答】感染症対策の個別の項目は設けていないが、指定管理者に対しては火葬、遺体、会葬、収骨等の取扱いにおける適切な運営体制を整えられるよう協議し、10月の供用開始を迎えたい。

【問】市内事業者からの応募の意向はなかったか。

【答】問い合わせはあったが施設の管理費用の算定ができなかったため応募はなかった。

【問】指定基準のうち、地域経済・地域活性化への貢献の項目で、採点に差が出た理由について。

【答】まごころサービスグループからは、市内業者への発注に関して前向きに検討することを示した関心表明書の提出や、市内在住者の雇用に配慮する提案があり、積極的な取り組み姿勢がうかがえた。

【採決】

採決の結果、第78号議案ほか一件について全員一致提案理由を了とし各案は原案どおり可決した。



建設中の新斎場

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が5月29日に行われ、質疑応答がありました。

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要課題について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

新型コロナウイルス感染症に係る三原市の中小企業等への支援について

【概要】本市独自の支援事業として、第1弾から第4弾までの緊急経済対策を打ち出してきた。今回打ち出された第4弾の経営支援給付金事業や観光事業者等支援給付金交付事業について、また第1弾から第3弾までの状況などについて質疑があった。

【問】送で案内していく。金融機関に周知をお願いしてはどうか。

【答】連携していきたい。援制度を活用していただきたい。

広報について

【問】市の支援策だけではなく国や県の施策もまとめて広報できないか。

【答】市の独自施策の内容が交付決定され次第、公表する。

事業継続支援給付金について

【問】家賃収入や農業で生計を立てている方への給付はないのか。

【答】事業所支援を目的としていることから、営業所得の申告をされている方に限定している。

観光事業者等支援給付金交付事業について

【問】生活航路への支援はないのか。

【答】引き続き国や市の支



常任委員会報告

総務財務委員会

6月定例会付託議案審査

議第80号「三原市税条例の一部改正について」

【概要】個人市民税の非課税措置の要件に、ひとり親を追加するもの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止等になった行事のうち、法律で指定する行事の入場料等について払い戻しを請求しなかった場合に個人市民税の寄附金税額控除の適用を可能とするもの、軽量な葉巻タバコの課税標準額の算定方法を見直すもの。

【主な質疑の内容】

【問】固定資産税の軽減を受けることができる設備投資をするため、これまでに、先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者数を問う。

【答】本市が平成30年6月に導入促進基本計画を策

定してから令和2年3月30日までの間で、当該認定を行った中小企業者等は30者ある。

【問】中止や延期になったイベントの入場料等の払い戻しを受けなかった場合に、個人市民税の寄附金税額控除として適用を可能とすることについて、どのようなイベントが控除の対象になるのか。また、控除を受けるために必要となる具体的な手続きについて。

【答】文部科学省が一括して指定することとなり、6月5日時点では、全国で521件、県内では13件のイベントが指定されている。また、控除の適用を受けるには、入場券等の払い戻しを受けなかったことについて、イベントの主催者が発行する証明書をもって、税の申告をすることが必要となる。

議第83号「財産の取得について」

【概要】西部分署大和出張所に配備している消防ポンプ自動車を取得することについて。

【主な質疑の内容】

【問】消防ポンプ自動車の納期が令和3年3月26日であり、納入までに相当の時間を要する理由は。

【答】当初の納期は3年2月を考えていたが、車両に各種装備を取り付ける装メーカが、新型コロナウイルス感染症の対応として、人員を減らして作業していることを考慮し、消防業務に支障が生じない範囲で納期に余裕をもたせたため。

【問】圧縮空気泡消火装置が装備される本件の消防ポンプ自動車について、放水時間など、どの程度の消火性能を有しているのか。

【答】本件のポンプ車は、600リットルの水を積載できることから、初動

においては水利を必要とせず、積載した水と消火薬剤を混ぜ合わせ、7分半から8分間の放水が可能であり、初期対応を迅速に行うことができる性能を有している。

【採決】

採決の結果、議第80号他4件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

厚生文教委員会

6月定例会付託議案審査

議第86号「三原市介護保険条例の一部改正について」

【概要】介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令の施行に伴い、公費を投入して低所得者の保険料

の軽減を強化するとともに、保険料の減免申請書の提出期限の特例に関する規定を整備するため、条例を一部改正するもの。

【主な質疑の内容】

【問】消費税の増税に伴う、低所得者に対する介護保険料の軽減措置の継続について、今後3年間の国の意向はどうか。

【答】国は、現時点において、来年度以降の軽減措置の継続について意向を示していないが、消費税の引き上げによる税収を財源として、介護保険料の軽減が強化されたことを踏まえると、来年度以降も継続されるものと考えている。

議第87号「世羅三原斎場組合規約の変更について」

【概要】新斎場の供用開始に伴い、世羅三原斎場組合の火葬場の利用を終了することにより、同組合の解散に係る手続きを規定するため、規約を変更することについて議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】

【問】世羅三原斎場組合規約を変更した後は、同組合の解散に向けて、どのようなスケジュールで進めていくのか。

【答】組合は、令和3年3月31日を以て解散する予定である。解散までに必要な手続きとしては、広島県に同組合の規約変更の許可申請を行い、許可を得た後に、世羅町と協議のうえ、解散や財産処分等に係る議案を9月の市議会定例会に上程する予定である。議決されたあかつきには、県に対して解散の届出を行い、解散となる。

【採決】

議第85号他3件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

6月定例会付託議案審査

6月定例会付託議案審査
議第91号「市道路線の認定について」

【概要】糸崎177号線を市道認定するもの。

【主な質疑の内容】

問 今回認定する糸崎177号線及び周辺道路の幅員が1m未満の箇所について拡幅する計画はあるか。

答 地元住民から市道改良の要望等はなく、拡幅の計画はないが、消防活動の際に緊急車両が入りにくい状況もあることなどから、関係機関と連携し、緊急時の対応策を検討したい。

議第94号「三原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について」

【概要】厚生労働大臣に届出を行った浄水方法の変更を併せて、計画給水人口及び計画給水量を近年の地域等の動向を考慮した数値に変更し、届出を行ったことから、水道

事業の設置等に関する条例について所用の整理を行うもの。

【主な質疑の内容】

問 今回厚生労働大臣に変更の届出を行った浄水方法はどのような内容か。

答 平成30年7月豪雨災害以降、濁度が上がったため、水道水の浄化方法を変更するもので、本郷地域の一部を給水区域としている片山浄水場においては、井戸水を汲み上げて行う滅菌処理から、以前あった急速ろ過の設備を復活させ浄水する方法に、大和町和木地域を給水区域としている和木浄水場においては、井戸水を汲み上げて行う滅菌処理から、膜ろ過の設備を新たに設置し浄化する方法にそれぞれ変更した。

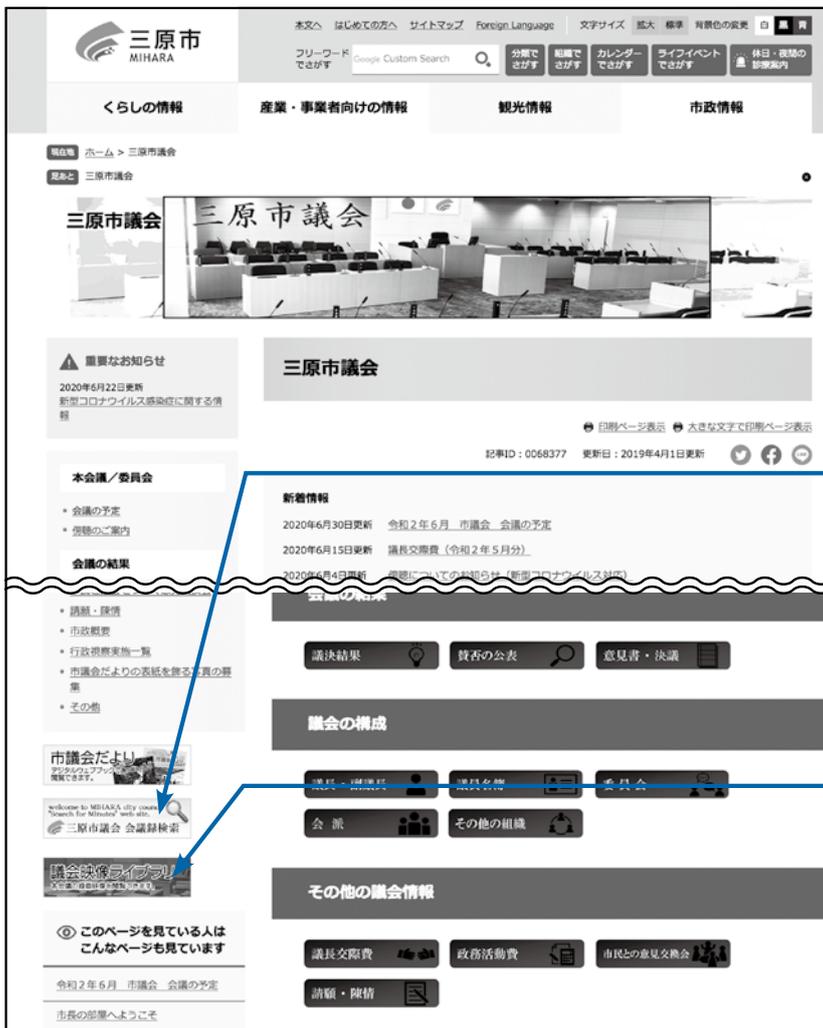
【採決】

採決の結果、議第89号他6件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

三原市議会の情報を発信しています

三原市議会のホームページには、録画による本会議の審議状況の視聴と、本会議の会議録や委員会の記録の閲覧がいつでもできます。

三原市議会のホームページは、「三原市議会」で検索いただければ検索結果に表示されます。



○会議録検索システム
「ことば・関連語・発言者・カテゴリー・語句」などの検索機能を備えているので、容易に検索が可能です。

○本会議インターネット録画映像配信
「本会議・議員名・会派名」ごとに、見たい場面を簡単に探し出せる検索機能を備えているので、効率よく視聴することが可能です。

三原市議会トップページ

令和2年第2・3・4・6回臨時会及び第5回定例会 賛否結果一覧

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第71号	令和2年度三原市一般会計補正予算(第2号)	5月1日	原案可決
議第72号	令和2年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	5月1日	原案可決
議第73号	三原市駅前東館跡地活用事業設計・施工一括請負契約の変更について	5月18日	原案可決
議第74号	令和2年度三原市一般会計補正予算(第4号)	5月29日	原案可決
議第75号	三原市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正について	5月29日	原案可決
議第76号	令和2年度三原市一般会計補正予算(第5号)	6月11日	原案可決
議第77号	令和2年度三原市下水道事業会計補正予算(第1号)	6月11日	原案可決
議第78号	三原市斎場設置及び管理条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第79号	三原市斎場の指定管理者の指定について	6月23日	原案可決
議第80号	三原市税条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第81号	三原市都市計画税条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第82号	三原市国民健康保険税条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第83号	財産の取得について	6月23日	原案可決
議第84号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(須ノ上辺地)を定めることについて	6月23日	原案可決
議第85号	三原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第86号	三原市介護保険条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第87号	世羅三原斎場組合規約の変更について	6月23日	原案可決
議第88号	三原市火災予防条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議第89号	市道路線の廃止について	6月23日	原案可決
議第90号	市道路線の廃止について	6月23日	原案可決
議第91号	市道路線の認定について	6月23日	原案可決
議第92号	市道路線の変更について	6月23日	原案可決
議第93号	和解をし、損害賠償の額を定めることについて	6月23日	原案可決
議第94号	三原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	6月23日	原案可決
報第5号	平成31年度三原市一般会計補正予算(第8号)の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第6号	令和2年度三原市一般会計補正予算(第1号)の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第7号	三原市吏員退職料、退職給与金、遺族扶助料及び死亡給与金条例等の一部を改正する条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第8号	三原市税条例等の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第9号	三原市都市計画税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第10号	三原市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第11号	三原市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第12号	三原市国民健康保険条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
報第13号	三原市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例及び三原市生活環境審議会条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月1日	承認
報第15号	令和2年度三原市一般会計補正予算(第3号)の専決処分に対し承認を求めることについて	5月18日	承認
報第16号	三原市後期高齢者医療に関する条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月18日	承認
同第6号	三原市農業委員会委員の過半数を認定農業業者等又は認定農業業者等に準ずる者とするこの同意について	6月23日	同意
同第10号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第11号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第12号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第13号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第14号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第15号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第16号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第17号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第18号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第19号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第20号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第21号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第22号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第23号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第24号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第25号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第26号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第27号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
同第28号	三原市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意
発第1号	三原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	5月29日	原案可決
発第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	6月23日	原案可決
	市長の退職の期日に関する同意について	6月30日	同意

【賛否が分かれたもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	高	木	田	杉	宮	正	安	萩	児	岡	徳	伊	亀	政	新	高	陶	加	中	岡	梅	分	七	寺	仁
				原	村	中	谷	垣	田	藤	由	玉	富	政	勝	山	平	元	木	陶	村	重	本	本	野	川	田	ノ
				伸	尚	裕	辰	秀	洋	志	美	敬	雄	時	也	弘	智	昭	武	範	博	仲	純	秀	達	元	元	
同第7号	副市長の選任につき同意を求めることについて	6月23日	同意	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
同第8号	三原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
同第9号	三原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月23日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発第2号	三原市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	6月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発第4号	天満祥典三原市長に対し抗議する決議について	6月30日	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議

賛成：○ 反対：× 退席：退 本会議欠席（早退を含む）：欠 除斥：除 議長：議（議長は採決に加わりません）

「みはらし議会だより」表紙を飾る写真を募集します！



応募のスケジュール

- (1) 5月1日発行号… 3月31日までの受付締切
- (2) 8月1日発行号… 6月30日までの受付締切
- (3) 11月1日発行号… 9月30日までの受付締切
- (4) 2月1日発行号… 12月27日までの受付締切



三原市内で撮影した四季折々の行事や風景など



応募者本人が概ね1年以内に撮影した未発表のもの

- ※応募資格不問
- ※1回2点まで

市民に親しまれる「みはらし議会だより」の取り組みの一環として、表紙の写真を募集します。

応募の詳しい要領等はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

詳細は議会事務局へ 電話 0848-67-6137 メール gikai@city.mihara.hiroshima.jp

令和2年次回定例会 予定表 (令和2年6月23日現在)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
9	8	火	10:00	本会議 開会
	10	木	10:00	本会議 一般質問
	11	金	10:00	本会議 一般質問
	14	月	10:00	本会議 一般質問(予備日)
	15	火	10:00	常任委員会(総務財務)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
9	16	水	10:00	常任委員会 (厚生文教)
	17	木	10:00	常任委員会 (経済建設)
	18	金	10:00	補正予算特別委員会
	23	水	10:00	決算特別委員会
	25	金	14:00	本会議 閉会

※都合により日程を変更することがあります。

編集委員の「びびり」

令和2年度は新型コロナウイルス感染症との共存を模索しなければいけない一年になりそうです。

年度当初から4回の臨時議会と定例会では主に対応事業案を審議いたしました。様々な支援を申請期限に注意しながらしっかり利用して下さい。

8月9日には市長選挙・市議会議員補欠選挙が予定されていきます。私自身も襟を正して、新たに出発をしたいと思っています。

暑い夏になります、「3密」を回避しながら健康に注意して乗り切っていきましょう。

萩 由美子

議会広報部会員

萩由美子・伊藤勝也・高原伸一
木村尚登・田中裕規・安藤志保
岡 富雄・亀山弘道・高木武子
岡本純祥・中重伸夫

※「市議会だより」は、市役所1階ロビー・各支所・中央公民館・各地のコミセンでも配布しております。

三原市議会広報広聴委員会

三原市港町三丁目5番1号

TEL 67-6137

FAX 63-4545

受け継ぐ本郷町への思い

「おはようございます。」今日もバケツに、たくさんのお花を入れて、地域のお花ボランティアの方々が、テキパキと生徒玄関回りをきれいに花で飾ってくださっています。

私たちの通う本郷中学校は、父や母の時代から地域の方に優しく見守られてきました。例えば、入学式や卒業式の豪華な生け花、体育祭の応援の声やバザー、校舎周りの草刈りやペンキ塗り、朝の交通指導、すべて私たちがよりよい学校生活を送れるようにとやってくくださっていることばかりです。

そんな地域の方への恩返しの意味を込めて、吹奏楽部は本郷町のお祭りやイベントで演奏を披露し、地域の方に喜ばれています。また、年に一回本郷小学校と合同で、地域クリーン活動を行っています。自分たちが住んでいる地域を班に分かれて掃除するのですが、保護者や地域の方も協力してくださっています。ところが、実際に掃除してみるとゴミや草などは少ないのです。これはやはり地域の人が、きれいな町にしようという心がけておられるからだと思います。

こういった地域の人の行動を見て、私たちも何かできないかと考え、様々なボランティアを始めました。その一つに献血ボランティアがあります。雨の中、私たち生徒の呼びかけに応じて献血をしてくださる方、「頑張っているねえ。」と優しく励ましてくださる方、うれしくてより一層呼びかけの力が入りました。優しい人が多く、素敵なこの本郷町が大好きです。次の時代を担う私たちの世代は、地域の方がやってくくださったことを受け継ぎ、地域にできることを考え、実践していくべきだと思います。ますます本郷町が豊かになるように願っています。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第42回 —

私たちの宝 ふるさと

私が思う宝。それはこのふるさとです。自分のふるさとは、世界でたった一つしかありません。ふるさとの良いところや特徴を感じながら生活することは、とても幸せだと思います。

私がこう思えるようになったのは、三年生から始まるふるさと学習（総合的な学習の時間）に取り組んできたからです。このふるさと学習は、地域の方と一体となり、地域が栄えるために共に活動を進めていきます。三年生では、梅林地区の梅を色々な人に知ってもらおうというプロジェクトに取り組みました。そのために梅林の歴史を学び、実際に梅もぎをして、梅干しを漬けたり、地元の企業と共同開発を行って、梅シロップを作ったりしました。それを地域のとんどで販売し、多くの人に西野の梅林のことや梅のおいしさを知ってもらうことができました。そして、何よりも私たちの心に梅林をこれからも大切にしていきたいという気持ちが芽生えました。四年生では、学校の横にある「学びの森」での活動を通して自然と共存していく大切さを学びました。五年生では、ロシアの方々との交流を通して、相手の国の文化を尊重するだけでなく、自分たちのふるさとの素晴らしさや文化などを再認識し、ふるさとって良いところだなと改めて実感し誇りに思えるようになりました。

六年生では、今までの集大成として、ふるさとの良さを守り広める活動は何なのか、今までお世話になった地域の方々への感謝を伝えるにはどうしたらよいかなどについて考えるふるさとを大切にしていきたいと思っています。

